

グッバイ ノッシ!

畑倶楽部 電気柵の取り扱い 共有メモ

2024.8.5

1 猪の生態を理解しよう

- ・豚の仲間である。結構、小心者で夜に行動。
- ・でも、野生なので体力はトラクター並み。
- ・好物は、芋類と地中の虫やミミズ。
- ・嗅覚が鋭い。なんでも鼻で嗅いで触って確認する。
- ・土を掘るのが得意。
- ・全身が毛に覆われている。
- ・春に出産して夏にウリボウを引き連れて行動する。

2 電気柵の効果

- ・電線に電気が流れていて、そこに鼻をつけた猪は感電する。
- ・一度、感電すると電線が怖くなり近づかなくなる。
- ・鼻以外は感電しないので、猪が鼻チェックをする位置に電線がないといけない。
- ・ウリボウは学習していないので、感電体験をしっかりさせるように常時電気を流しておく効果的である。

3 電源機械の操作方法

1) 操作する部位



このダイヤルを操作します。

- ・ 4つのモードがあります。

電源切、連続オン、昼オン、夜オン

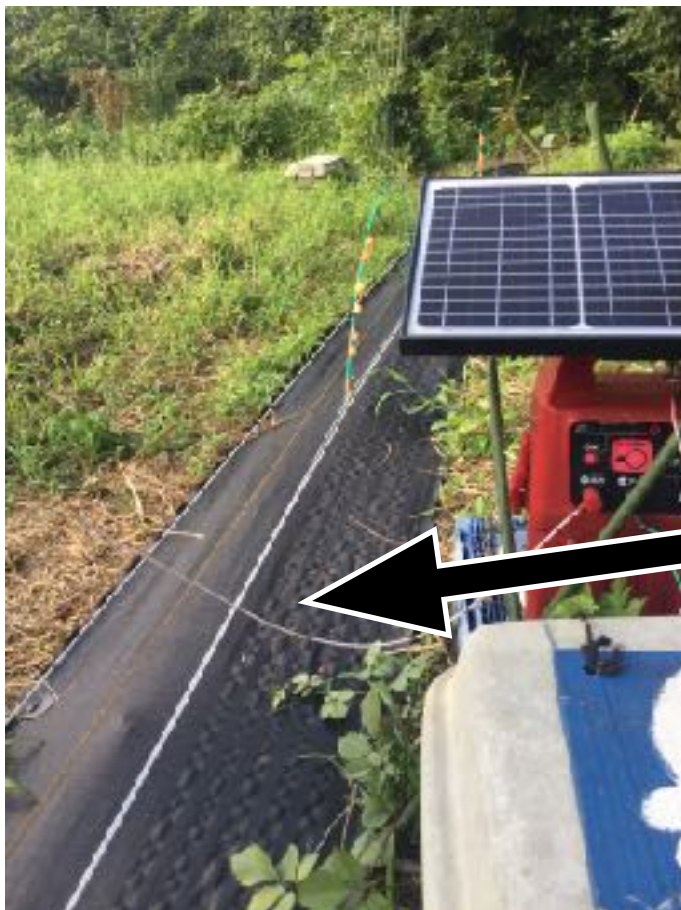
感光センサーがあって、昼のみ、夜のみ
通電することが可能です。

2) 電源オンの状態



ダイヤルを連続にセットすると出力ランプと連続ランプの両方が点滅します。この状態を基本とします。

もし、点滅していない時はグループラインでお知らせください。



また、電源機械から出ている電線が電気柵全体にくっついていないことも確認ください。

4 電線と防草シートの管理



クズなどの草が伸びてからむと漏電して電池の減りが早くなります
気づいた時はハサミでカットしてください。



メヒシバなどの雑草が伸びて電線に絡むのも漏電につながります。
防草シートを超えて電線に近づくような雑草はカットまたは根こそぎ抜いてください。

各区画の付近での対応を可能な範囲でお願いします。また、その他の場所で気になるところがあれば対応いただくか、グループラインでお知らせください。

ちょっとの手入れと情報共有で被害0にしていきましょう！